

学校再編実施計画（案）に関する意見交換会
（桜川小学校区）

日時：令和8年5月10日（日）17：08～19：20

場所：桜川公民館

冒頭、稲敷市役所（教育委員会教育政策課）から、「稲敷市学校再編に関する意見交換会資料」を基に説明を行った上で意見交換を実施したところ、質疑応答の概要は以下の通り。

【①質問】

将来のさらなる児童生徒数の減少を見越すと、今回2校に再編してもいずれまた見直しが必要になり、1校に集約した方が合理的ではないか。これは学校（教育委員会）だけでなく、市全体の問題である。

【①回答】

検討委員会でも、将来的には1校で十分になるという話をしていた。しかし、稲敷市は東西に広いため、1校に集約すると市域の端（新利根の根本地区等）の児童生徒の通学時間がスクールバスを使っても長くなりすぎることを考慮し、2校案としている。

【②質問】

新利根地区にとっては、江戸崎よりも市の中央部の方が近い。既存校舎の利用を前提としすぎていないか。

【②回答】

計画の基本は、既存校舎の利用であり、もし人数が収まらない場合は増築で対応する方針である。

【③質問】

5年後、10年後には更に児童生徒が減少する。新利根地区は江戸崎中学校に行くより市の中央部の方が近く、より最適な場所の検討はしたのか。これは教育委員会だけの問題ではなく、行政の問題である。行政でもっと踏み込んだ意味のある会議をやらないと、教育委員会で人を集めても、対象者の範囲が狭く、結果的に何にもならない。市全体で考えているのか。

【③回答】

この計画案は、教育委員会で案を作成し、市長の意見も聞きながら、策定している。

【④意見】

子どもは、1時間もスクールバスに乗るのは耐えられない。

【④回答】

その点を考慮し、1校案では乗車時間が1時間を超えるため、2校案（江戸崎・東地区）にし、1時間以内で運行できるよう試算をしている。

【⑤意見】

2校案でも、1時間以内に回れるはずがない。

【⑤回答】

停留所の箇所数にもよるが、バスの台数を確保して時間を調整していきたいと考えている。

【⑥質問】

バスは何台で計算しているのか。

【⑥回答】

現時点では、具体的な停留所や人数までは計算していない。

【⑦意見】

そういう計算をしないと、具体的な時間は算出できないのではないかな。

【⑦回答】

計画が決定すれば具体的な計算をする予定である。

確かに2校案であっても、バスの台数が多くなることも想定されるため、検討させていただく。

【⑧質問】

バスの台数やサイズまで具体的に考えなければ、意味のある会議にならない。桜川小学校の際は、統合前に相当な時間をかけて計画を練った状況である。

【⑧回答】

今回提示している計画は、まだ決定ではなく、案の段階であるため、具体的なバスの台数の計算までは至っていない状況である。桜川小学校の際は、統合が決定した上で、計算しているため、前提条件が違うことを理解いただきたい。

【⑨質問】

令和14年度に桜川小学校の児童数が80人（単学級規模）になるという推測について、その算出根拠は何か。令和7年の出生者数が年間100人弱であり、仮に中学校を市内1校に統合したとしても、全体で3クラス規模にしかない。つまり、今回の統合案を実行しても、令和14年頃には、再び学校のあり方を見直す時期が来るので、計画の見直し検討を行うことになっていると思われる。この問題は、桜川地区だけの話ではなく、稲敷市全体で取り組むべき課題であり、この児童生徒数の減少に対して、どの案がベストなのか検討し、地域住民としても確認する必要がある。かつて桜川地区の3校を統合し、30億円超の費用をかけて新設した桜川小学校が、わずか10年余りで再び統合の対象となっており、当時の統合した際の児童生徒の推計方法等に疑問があり、今回の計画の児童生徒数の見通しについても、実際のところは、稲敷市から市外へ通学する児童生徒が相当数いることを考慮すれば、今回の推計よりもさらに児童生徒数が減少することも想定され、もっと厳しい（シビアな）試算すべきではないか。勿論、教育委員会では、区域外へ通学する児童生徒の数は把握しているはずである。

【⑨回答】

この推計は、実績をベースに統計上の数値を使って推計したものであり、稲敷市に住民票がある子どもの数から算出したものである。実際には区域外へ登校している児童生徒もいる状況であり、実績とズレが生じてくる部分も発生する。

【⑩質問】

児童生徒数やリソースの話聞いた上で、基本的に計画に反対ではない。しかし、過去に桜川小学校を統合する際の基準は、安全を最優先し、浸水为了避免のために高台に新設したと聞いている。一方で、今回の計画では、東地区は場所的には東部地区の中心で、児童生徒を連れていくのにも一番妥当だとは思いますが、浸水想定区域が統合先となっており、桜川小学校の際の安全最優先という判断と今回の方針が異なっているように見える。この方針が変わった経緯等について、その違和感を解消してほしい。

【⑩回答】

確かに桜川小学校の際は、浸水リスクを避けるために高台へ新設した経緯がある。

今回の統合案について、児童生徒の安全が最優先であるという方針に変わりはない。なお、洪水対策については、津波と異なり、ある程度の時間をかけて発生するため、危険が予測される段階で学校を休校にするなど、事前の対策を講じ、万が一、在校中に危険が迫った場合は、校舎の上階など、より安全な場所へ避難する垂直避難を考えている。

【⑪意見・質問】

今の回答からも方向転換をした明確な理由はなく、貴重な血税としてお支払いしているものとして、使い方として疑問が生じる。ここで解決するものではないと思うので、意見として伝えておく。

もう1点が、費用面で、増築とか小学校を隣接させていくとなった時に、桜川地区と東地区を比較して、東地区の方が良いというように資料で書かれている。しかし、東地区は、浸水対策の地盤改良費等が発生すると想定され、その対策費用を加えた東地区の総事業費と、地盤改良が必要ない桜川地区との比較検討は行っているか。

【⑪回答】

東中学校の場合は、施設規模が大きいので、増築は不要である。桜川中学校の場合は、小学校（中学校）1校分の校舎を増築する必要があり、30億円以上の費用が必要になると想定する。なお、東中学校の浸水対策は、かさ上げ等の地盤改良は想定しておらず、浸水した場合に学校機能を早期に再開できるように、水に弱いキュービクル（電気設備）を上階に設置する対策を想定している。

何より通学時間（スクールバス）を考慮して、小学校、中学校を2つの拠点として計画しており、今の東地区と桜川地区の児童生徒数から、どちらが効率的か、バスの乗車時間が短いかを計算し、東中学校としている。

【⑫要望】

現状の建物等に関する金額だけで考えたら、東中学校の方が規模感も大きく良いと思うが、キュービクルの移設費用や、建築年が桜川地区の学校と比較すると古いことにより、修繕や保全などの維持管理費が多く発生する可能性があり、それらの費用も加味した上で比較をしないと公平ではない。そういった試算をしない上で、東中学校が良いと言われても疑問があり、その計算方法等の記載も計画にはほしいと考える。

桜川小学校または中学校の敷地に校舎を新築となった場合には30億円程度かかると話があったが、教育委員会のみで判断する金額ではないと考え、地域住民の説明も含め、市全体で運営、運用することが重要になると考える。桜川小学校と東中学校との比較だけではなく、稲敷市全体での学校再編プランを練っていく必要があり、

そうでないと、5年後、10年後にまた同じ問題が発生し、問題を先延ばしにして、またお金がかかるとなった時に、人口減少、産業衰退、消滅都市など、将来の子どもに対して無責任であると思う。この場で、回答が欲しいわけではないので、桜川地区と東地区だけの問題ではなく、江戸崎地区と新利根地区でも同じような問題が発生すると思われるので、検討いただきたい。

【⑫回答】

そのような費用面を含めて、市全体で検討していきたい。

【⑬意見】

市外から転入してきたが、桜川小学校は小規模だが、綺麗で、高台にあり、桜川中学校の生徒も挨拶をしてくれる状況で、感心したところである。東地区への通学はスクールバスの時間が長いことも不安で、東中学校へ行くには川を越える必要があり、過去の台風の際の増水の経験から、1人の親として怖いなどの思いがあるので、できるのであれば、浸水想定のない現在の桜川地区の学校で生活させてあげたいと思う。

【⑬回答】

浸水に対して不安があると思うが、校舎上階への垂直避難や、キュービクルを上階に移設するなど検討していきたい。

【⑭質問】

過去に水害があったと思うが、避難の資料はないか。

【⑭回答】

小中学校には避難マニュアルがあり、毎年更新している。

【⑮質問】

それを提示すれば良いのでは。

【⑮回答】

本日は用意していないが、次回は準備する。

【⑯質問】

桜川小学校の建設の際は、古渡小学校で計画が決定した後に変更になった。再度、検討した方が良いのではないか。過去に、東地区は浸水したことがあり、東中学校の先生に避難方法を聞いた際には、新利根川の橋の上に逃げるといった内容以上に具体的な説明はなく、なぜ浸水想定区域に統合するか疑問である。

【⑯回答】

先生の話は、急な増水の際は、橋を渡って伊佐部方面へ行くという話ではないか。あずま北小学校は、ハザードマップ上でも避難所になっている。

【⑰質問】

東中学校はどのような避難訓練をしているか。具体的に垂直避難とはどのように行うか。また洪水の際は、保護者は橋を渡って子どもを迎えに行けるのか。

【⑰回答】

垂直避難は、洪水が発生した際に校舎の上階などへ緊急的に上がる避難である。学校の避難訓練は、詳細は把握していないが、計画的に行っている。洪水は、事前予測が可能であるため、危険が迫る前に休校措置や住民避難が行われることで、保護者が危険な中を迎えに行く状況は回避され则认为る。

【⑱質問】

予期せぬ急な災害が発生した場合や、洪水になった場合には、子どもを迎えに行けない状態になり、誰が責任をとるのか。それが明確にならないと通学させることはできない。

補足で、過去の昭和10～20年代に、小貝川の水があふれたこともある。

【⑱回答】

過去の浸水被害とは状況が異なり、現在は国営事業によって大規模な排水機場が整備されている。浸水前に排水が可能であるため、当時のような状況は起こりにくい。考えないといけないのは利根川の決壊である。

【⑲意見】

どこに排水するのか。利根川は決壊しない。利根川がいっぱいになって、小貝川の水が入らなくなり、堤防が切れた。危険なことはやらない方がよい。

【⑳質問】

垂直避難をした場合、大人は耐えられても、幼い子どもは1人でもパニックになれば、それが連鎖して教員では手に余る状況になることが想定される。そのため、垂直避難をあまり信頼しない方がよいと思う。親としては、すぐに駆けつけられない場所に子どもを通わせることに抵抗があり、子どもの心のケア等はどう考えているか。市の回答を聞いていると、保護者として胸が締め付けられるような感じで、命を守る、垂直避難で大丈夫という説明は、回答に重みを感じられない。桜川地区の保護者の多くは、新しい校舎だからとかではなく、安全を本当にお願ひしたくて、私としては本当にやめていただきたい。

【㉑回答】

市の方針として、まず大前提となるのは水害の危険性が予測される場合には、休校措置をとる。その上で、万が一、予測不能な水害が発生した場合の最後の手段として垂直避難を想定している。

【㉒意見】

なぜ、浸水想定区域へ行くのか。お金がかからないからこの案で行きたい。子どもたちの安全を第一に考えているとは思えない。

【㉒回答】

この計画はあくまで現時点での案であり、決定事項ではなく、必ずこの計画のとおりに進む訳ではない。なお、他地区からは早期に統合を望む声もいただいている。様々な意見を伺いながら、賛同が得られれば進めていく方

針である。

【⑫質問】

賛同は難しい。教育委員会の皆さんは、自分の子どもを浸水想定区域に快く送りだせるか。

【⑫回答】

お気持ちは分かる。

【⑬意見】

計画を変えて欲しい。

【⑬回答】

ご意見を承ったので、この場で計画を変更するとは言えないが、十分に検討をした上で、改めて報告させていただきたい。

【⑭質問】

桜川の時から方針が変わった理由は。

【⑭回答】

子どもの安心安全を第一に考えるという基本方針は、一切変わっていない。今回の計画は、既存の桜川中学校と東中学校の活用を比較検討した結果、東中学校となり、子どもたちの通学時間が短縮でき、校舎増築の費用もかからないというところもある。浸水想定区域のことについては、台風や大雨の予報が出た時点で休校措置をとり、万が一、子どもたちが在校中に危険が迫った場合は、保護者の方へのお迎えをお願いし、避難が間に合わない最悪の事態では、校舎の2階以上に垂直避難することで安全を確保する。このように、方針を転換したわけではなく、通学の利便性や費用、そして災害時の具体的な安全対策を総合的に考慮した結果、東中学校が適当であると判断した。

【⑮質問】

以前の意見交換会で、統合先の候補として桜川中学校と東中学校が挙がり、なぜ桜川小学校を拠点として検討しないのかという質問した。あの時の意見は、今回の計画にどう反映されたか。

【⑮回答】

桜川小学校と桜川中学校どちらの敷地も、統合後の小中学校の児童生徒を収容するには施設規模が足りない状況で、1校分の新築が必要になる。

【⑯質問】

資料を見ると桜川中学校の規模が非常に小さく記載されているが、実際はもっと広いと感じる。東中学校の浸水リスクについて、自宅は浸水地域だが、桜川小学校は高台にあり、災害時には自宅より学校にいる方が安心できるほどである。統合に反対ではないが、浸水想定区域に通わせる不安の方が大きい。これまでの説明は、あくま

で想定内の対策に聞こえる。しかし、昨今の大雨のように想定外の災害が起きた時、本当に子どもの安全は守られるのか。その資料が不足し、コスト面が優先されているように感じる。こうした安全に関する検討資料をしっかりと示していただくことが、保護者の安心につながると考える。

【26回答】

この場で全ての疑問に対して詳細にお答えすることは難しいが、本日いただいた意見を反映した資料を作っていたらと思う。

【27質問】

1点目は、計画を進める上で必要な手順があることは理解するが、私たちの意見に対して検討しますという回答だけでは、不安が募ってしまう。

2点目は、桜川地区と東地区の対立構図にしたくない。この話し合いも桜川地区が中心となっており、なぜ桜川だけが反対しているのか、事情をよく知らない方からそのように見られてしまうかもしれない。浸水は津波みたいに来るわけではないし、高台がないのなら垂直避難、その時考えれば良いなどという感覚で物事が進み、結果的に桜川地区の親や子どもたちが悪者になってしまう。親の対立は、子どもたちにも伝わり、桜川が反対したといった感情が子どもたちの間に生まれることだけは絶対に避けたい。子どもたちの未来のために、地域間の対立が生まれないう、最大限の配慮をいただきたい。私たちはクレームを言いたいのではなく、ただ子どもの安全を心配し、納得して計画を進めたいと考え、国の計画においても地域住民の理解と納得が謳われているはずである。おそらく、市として桜川地区が反対した等の書き方はされないと思うが、子どもたちの未来を思うからこそ、お願いしたい。

【27回答】

1点目の回答については、皆様からいただいた意見は、現在検討している段階であり、今後、東地区、江戸崎地区、新利根地区でも同様の意見交換会を行う予定である。これらの意見を踏まえて検討し、その結果、計画に変更が生じるようなことがあれば、必ずその内容を報告する。現時点では検討しますとしか言えない状況である。

2点目の回答については、保護者として、意見が出ることは、当然であると思う。そのような事態を避けるため、市としては、東地区、江戸崎地区、新利根地区、全ての地区で同じ説明を行い、皆様から意見を伺っていく。

【28要望】

各地区での開催に加えて、市全体での説明会もお願いしたい。結局そうすると、桜川地区が騒いでいるというようになるが、参加人数を見ると危機感の差であり、結局、住民が基本という考え方になる。市全体での説明会は、多くの住民が自分も学ばなければと考えるきっかけになるはずである。教育委員会としても、より広く情報を届ける努力をしてほしい。

【28回答】

確かに令和7年度に各地区で説明会を行った際、参加者が少ない状況であった。PTA 総会後に行うなど、参加数を増やす努力はしたが、市内に小中学校は12校あり、全体で同じように行うことは難しい状況であった。周知方法についても検討し、未就学児の保護者なども含め、より多くの方に参加していただけるように様々な方法を検討する。開催方法について、まずは、各地区に特化した説明会を行い、例えば江戸崎地区としての考えなど、地域ごとの具体的な意見をしっかりと把握したいと思う。その上で市全体での説明会についても、あわせて実施を検討していきたいと考える。

【29質問】

3つの小学校が統合して桜川小学校ができて数年でまた統合の話が出ている。なぜ今なのか、なぜすぐにやらなければいけないのか疑問である。上の子は阿波小学校に通っていたが、その母校は既になくなって、今度は桜川中学校までなくなれば、子どもたちの母校が立て続けに失われることになる中で、教員不足や維持費のコスト削減などが理由として考えられるが、なぜ急いで統合しなければならないのか。

【29回答】

全国的な傾向だが、特に稲敷市では子どもの数が急激に減少しており、年間出生者数は100人前後になっている。各小中学校が、1学年1クラス（単学級）になっており、小学校から中学校までの9年間、クラス替えを経験せず、ずっと同じメンバーで過ごすことになる。これは、子どもたちにとって、良くないことが多く、統合していくしかないのではないかと考える。

【30質問】

良くないとは、子どもの意見か、保護者の意見か、誰の意見か、確認したのか。

【30回答】

確認はしていない。皆様は、9年間クラス替えができないことについて、どう思うか。

【31意見】

少子化やそれに伴う1学年1クラスは全国的な現象であり、稲敷市だけが急いで統廃合を進める必要はないのでは。近隣の美浦村などが統合したからといって、近隣の波に乗って今すぐやる必要はないのではないかと。逆に、SNSでは、1人の子どものために閉校した学校を立て直しするみたいなこともやっていた。

【31回答】

教育委員会としては、クラス替えができる1学年2クラス以上を目指したい。そのためには、統合が必要であり、10年間の計画案を示している。なお、計画を立てる上で、同じ子どもが2回統合を経験することがないようにというルールを設けている。そのため、一度統合を経験した桜川小学校の子どもたちが再度影響を受けないよう、令和15年以降に設定している。昨年度からこの計画案を示し、広く意見を聞いている段階であるが、参加人数が少ない状況であったため、PTA 総会等の場を捉えて、他地区や未就学児の保護者にも、意見交換会を実施し、意見を聞いていきたいと考えている。

【32質問】

統合しないで学校を維持管理するだけのお金はあるのか。つまり、この計画はお金の問題ではないのか。

【32回答】

当然、費用も考慮するが、子どもの環境が一番である。

【33質問】

お金の問題でなければ、極端に言うと、桜川地区の小学校または中学校を新築することも可能ではないか。

【③③回答】

統合した場合でも、スクールバスを通す関係で、経費がさがる訳ではない。先生の人数（人件費）は減ると思うが、市としてのお金は大きくは減らない。そのため、経費がかかるから1校にするという考えではない。

【③④質問】

子どもや保護者が少人数でも良いという意見が多ければ、統合しない可能性はあるか。

【③④回答】

即答はできないが、意見として反映する。

【③⑤質問】

統合先が東中学校となった場合、スクールバスは何台か。

【③⑤回答】

現状では、台数や経費などは算定していない。計画策定になれば、すぐに試算しようと考えている。

【③⑥質問】

検討段階ということだが、今年度中に策定しないといけない理由は何か。

【③⑥回答】

行政としては、計画に基づいて業務を進めていくので、まず計画を策定させてほしい。なお、江戸崎地区では、統合を進めてほしいという意見もいただいております、意見を伺いながら進めている。

【③⑦質問】

あずま北小学校の跡地に給食センターを作る予定か。

【③⑦回答】

その方向で検討している。現在、給食センターは、江戸崎地区と東地区に1つずつあり、桜川中学校だけは自校式で行っている。今年度は、それらを1つにする（新築する）ための基本設計を行う予定である。

【③⑧質問】

新しい給食センターは、何年にできる予定か。

【③⑧回答】

令和12年に運用を開始しようと考えている。その際は、桜川中学校についても給食センター方式に変更する予定である。

【③⑨質問】

桜川中学校の自校式給食については、継続する予定はないか。

【39回答】

市内で唯一自校式給食を提供しているため、給食センターに一本化する方針である。

【40要望】

子どもから、学校で作る給食の方がおいしいと聞いているため、継続してほしい。

【40回答・確認】

給食センターについては、1つにする方向でいる。

今までの意見交換会の経過を市のホームページに掲載している。本日の意見交換会の経過も掲載してよろしいか。
(反対する人がいないため) 後日、掲載する。

【41質問】

誰かがメモしたのを載せるのか、レコーダーか。

【41回答】

レコーダーで録音しているが、全て文字で起こすとすごいボリュームになるので、要点をまとめて、個人情報削除して掲載する。

【42質問】

何度議論を重ねても同じことの繰り返しで、どのようなプロセスを経れば具体的に話が進むのか。この議論をあと何回続けるのか。また、この見直しの中で、あずま北小学校があずま西小学校に統合になると思うが、校歌と校章は新しいものになるのか。学校名はどのようなになるのか。

【42回答】

統合後は、基本的にあずま西小学校のものを引き継ぐ形となる。その他に、ジャージについても、今着ているものはそのまま着てもらいたいが、いずれはあずま西小学校のものとなり、PTA 組織についても今後1つに統合していく話し合いを行う予定である。

【43質問】

あずま北小学校の保護者は、校歌等が全てなくなることについて、反対意見等はないのか。

【43回答】

4月にあずま北小学校のPTA 会員に説明したが、反対意見は承っていない。

【44質問】

あずま北小学校の保護者は、統合について前向きか。

【44回答】

前向きかどうかは個人的な感情になるのでわからないが、4月のPTA の際は否定的な意見は出なかった状況であ

る。

【④⑤意見】

統合に反対する立場ではないが、統合まで5年間あり、この議論がまた数年長引くことになれば、いつまでこの議論が続くのか。いつ案がとれるのか。

【④⑤回答】

本来、この計画は昨年10月から説明を開始し、昨年度中に策定する予定であった。しかし、説明会を開催しても参加者が10名に満たないなど、十分な数の意見を伺うことができず、計画策定には至らなかった。この状況を踏まえ、計画策定の期限を1年延期し、今年度中に案を取りたいと考えている。そのためには、より多くの保護者に意見を伺い、それらを総合的に勘案した上で計画を策定したいと考えている。

【④⑥質問】

東地区の意見交換会で、桜川地区に行きたいと意見が出た時に、統合先を桜川地区に変更することはあるのか。

【④⑥回答】

ゼロではない（可能性はある）。

【④⑦質問】

参加人数が少ないのは、浸水想定区域であること等を知らない人が多いからだと思う。未就学児の保護者の説明会はいつ行うか。

【④⑦回答】

具体的な日程は決まっていない。

【④⑧質問】

未就学児の保護者説明会の際には、統合先である東地区はどのようなところか、また、浸水想定区域の防災の話など、より興味をもつような内容で説明した方が良いと思う。桜川地区に結婚して転入してきた保護者は、東地区の土地の特性を把握していないと思われ、学校が統合されるという大枠の話だけではなく、防災面を含めた説明をした上で、アンケートや意見交換会を実施しなければならないと考える。

【④⑧回答】

東中学校付近は、浸水想定区域であるという事実も含めて説明する。

【④⑨質問】

浸水想定区域にある学校に子ども通わせることについて不安があるため、それらをきちんと隠さずに伝えてほしい。

【④⑨回答】

浸水想定区域の情報は公表されており、説明する際もきちんと説明する。

【50要望】

浸水想定区域にある学校は、河川が氾濫した場合に保護者が学校へ迎えに行くことが困難になること、災害発生時に避難場所としての機能を果たせないことなどを説明して初めて、保護者は自分事として真剣に捉え、こうした意見交換会への参加者も増えるのではないかと。

【50回答】

要望のあったリスクに関する情報も盛り込みながら、説明させていただきたいと思う。

【51意見】

市外から転入してきたため、東中学校周辺の土地勘がなく、浸水想定区域の話も知らなかった。未就学のお子さんがおり、昨年初めてこの統合計画を目にしたが、浸水のリスクなどを知らず、桜川地区が東地区へ統合されることが、決定事項であるかのように受けとっていた。

今回の案は、桜川地区が東地区へ統合される案だが、吸収される側は様々な意見が出る印象があるため、東地区が桜川地区へ統合される案を提示し、東地区から意見を伺ってみてはどうか。そうすれば、東地区の保護者から桜川地区は高台で浸水の心配がないから桜川地区の方が良いといった意見が出る可能性もあり、そうなった時にバスはどうか等、より多くの意見が出ると思われる。桜川地区は統合自体に反対しているわけではなく、東地区も桜川地区の統合に反対意見はないと伺っており、安心している。だからこそ、東地区が桜川地区に統合するという提案をすることで、より多くの様々な意見も出て、良いのではないかとと思う。

【51回答】

東地区についても、今後、意見交換会を予定しており、桜川地区は高台にあり、浸水の想定がないといった情報も含めて説明していく。市としては、保護者の皆様が児童生徒数の減少による統合の必要性は理解いただいている一方で、統合先の場所が問題であるというように認識されており、その辺りを計画に反映できるように努める。

【52質問】

統合先の東中学校は、現在の桜川地区の校舎よりも耐震性能が悪く、水害のリスクもハザードマップにも載っており、子どもを通わせることに不安がある。また、災害が発生し、子どもが助かったとしても、復旧、復興しなければならない。そのあたりのコストも高額になると思うが、どう考えているか。

【52回答】

水害が発生した場合の経費については、先程も指摘があったとおり、建設費以外の経費の算定も考慮していこうと考える。繰り返しになるが、キュービクルは上階に移設しようと考えている。

【53質問】

水害で被災した場合に、別の学べる環境（場所）は考えているか。

【53回答】

現時点では検討していない。

【54意見】

そこまで考えて計画を検討いただくと、親として安心して子どもを預けられる。

【54回答】

その辺を考慮した計画としていけるようにしたい。

【55質問】

資料に安価とあるが、安価とはどの程度のことを指すのか。高価ではダメなのか。
地盤改良について、具体的にどのような手法を想定しているのか。

【55回答】

安価と記載しているが、子どもたちの教育環境を第一に考えた上で、増築・改築する場合には、なるべくコストを抑えて、環境整備していきたいという趣旨である。
また、現時点では地盤改良を行うことは想定していない。

【56質問】

防災対策はどのようなことを考えているか。

【56回答】

ハード的なことは難しいと思うため、天気予報に基づきより早めの避難や緊急的な場合は2階以上の階へ垂直避難をするなど、避難対策を考えている。

【57質問】

キュービクルのサイズはどのくらいか。浸水が想定される高さである2階、3階以上に、児童生徒全員が避難できるだけの十分なスペースはあるのか。増築する場合は、何階までを増築するのか。

【57回答】

現段階では、統合先が東中学校ということは正式に決まっていないため、具体的な増築等は検討していないところである。

【58質問】

検討ベースで言った場合、資料には5.6億円の増築とあるが、どれくらいの規模感を想定しているか。

【58回答】

特別教室やトイレなどを増築すれば足りるとの計算で試算をしている。

【59意見】

本件について、東中学校の保護者に聞いたが、来てもらう側で、何も変わらないため、関心が低く、説明会などの案内自体が来ていないと話していた。また、桜川地区の方が安全なら桜川地区に行っても良いとも話していた。

そのため、東地区でも意見交換会が開催されると思うが、リーバーだけでなく、いろいろな周知方法を検討いただきたい。

【59回答】

全児童生徒に直接案内文を配布するなど、より多くの人に来てもらえるように周知方法を検討していきたい。

【60質問】

東中学校の保護者からは、桜川地区が統合に前向きでない感情を抱えたまま東中学校に来るのは、受け入れる側として少し嫌だという気持ちと、複式学級で良いなら、現状のままの方が良いのではないかと話していた。

また、東中学校は築年数が多く、桜川地区は新しい施設から古い施設へ行き、災害が発生し、被災した場合は、誰が責任をとるのか。

【60回答】

ご指摘の点も踏まえ、なるべく多くの保護者に来ていただき、多様なご意見を幅広く伺いたいと考えている。

【61質問】

結局、この計画は、何をもって決定か。

【61回答】

他地区も含めて、様々な意見をいただき、現在の計画案を修正しようと考えている。最終的には、学校の設置者である市長の決裁となる。

【62要望】

そうすると、次回開催する際は市長に参加いただきたい。市長もこの場に参加いただかないと、桜川地区の熱意等が伝わらないと思う。

【62回答】

最終的には市長の判断になるが、教育委員会のトップは教育長であるため、先ずは教育長が伺うようになると思われる。

【63質問】

教育長に参加いただき、その後に市長も参加いただけるか。それとも、市長は参加しない前提か。

【63回答】

次回の会議がいつ頃になるか次第であるが、今と同じ内容では納得いただけないと思う一方、他の地区の保護者の意見を聞いてからでないと案を修正できないので、次回開催のタイミングについて、他地区に意見を伺えるタイミングと、この会のタイミングが合えば良いが、その前にこの会を開催されてしまうと難しいと感じる。

【64質問】

意見交換会を行っている段階では、この計画は先に進むことは基本ないという理解で良いか。また、市長がノー

と判断すれば、この計画がなくなる可能性もあるという認識で良いか。過去にも、市長がノーと判断し、中止になった経緯があると記憶しているが、もういい加減にしてほしいという部分もあり、市長にも伝えていただきたい。

【64回答】

承知した。

【65要望】

この他第1回の会議で出た意見や質問もあったが、時間の都合上、後日、書面で回答いただきたい。

【65回答】

承知した。